

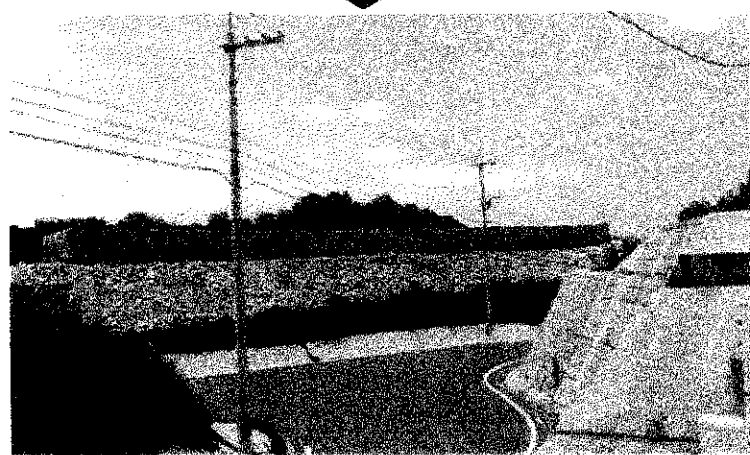
# 尾道～三原バイパス延長工事 騒音対策を - 住民要求を受けて国土交通省と交渉 -



日本共産党  
市議会議員団  
週刊議会報告  
【発行】  
岡野長寿  
(0845-22-2596)  
三浦とおる  
(0848-48-5044)



6月12日 防音工事前の現地



7月15日 防音工事後の現地

三浦市議は、6月中旬より「尾道～三原バイパス延長工事」に伴う騒音について、福地町の住民の皆さんから相談を受け、すぐに現地調査に入りました。現地では「木原トンネル工事」で出た大きな岩石を砕く作業と、それをダンプへ積み込む作業が同時に進行されており、凄まじい

**住民の切実な願い。工事に伴う騒音に対して、防音対策を**

三浦市議は尾道市福地町の住民の皆さんから「尾道～三原バイパスの延長工事」に伴う工事騒音の相談を受けました。現地を調査したところ、削岩作業等かなりの騒音が出ており、早速、国土交通省と交渉しました。

騒音で、住民の方々から「窓を閉めていてもやかましくてゆっくり休めない。なんとかして欲しい」と切実な願いを聞き、すぐに尾道市土木課、国土交通省国道河川事務所と交渉を行いました。

**削岩位置の変更と防音壁の設置が実現しました。**

現地で交渉をしていく中で「防音対策をしっかりとしたい」と等々の住民の皆さんの願いを国土交通省国道河川事務所の方に伝えました。季節的にも窓を開けられるように対策を求めたところ、工事場所の変更や防音シートへの設置が行われました。削岩工事については、木原トンネル工事場所の出口で今後は行う。(西に約80m離れた箇所)積み込み作業は防音シートの中で1日基本的に1時間程度の作業を2回、3回にしたいというように様子を見ることになりました。7月13日には防音シートの工事も完了し、現地に行き確認したところ「削岩機の音は小さくなった」「積み込み作業の音も小さくなった」と喜ばれておりました。今後、引き続き工事などで何か変化がある場合には住民の皆さんへ説明をしていくように求めました。

## 市民への負担増の議案には反対 - 被災者支援打ち切りで注文 -

日本共産党市議団では、6月議会における議案の賛否で20議案ある中で「議案第27条尾道市消防手数料条例の一部を改正する条例案」と「議案第29条尾道ふれあいの里設置及び管理条例の一部を改正する条例案」の2案に反対いたしました。

反対した理由は「議案第27条尾道市消防手数料条例の一部を改正する条例案」につきましては、消費税増税を転嫁するもので、認められません。

「議案第29条尾道ふれあいの里設置及び管理条例の一部を改正する条例案」においても民生委員会に利用料金の値上げの議案であり、市民の福祉施設でもあり、値上げには反対と申すこと。残り2案に反対いたしました。残り

の18案については賛成していただきます。

さらに日本共産党市議団は追加の注文として、議会初日に「6月30日で期限が切れる昨年7月の豪雨災害被災者への国保料や介護保険料、病院代などの一部負担金の減免措置」について、国に制度の延長を求めると共に、国が支援を行わない場合は、尾道市が単独でも、支援を継続していくべきであることを要求しましたが、尾道市の回答は、できないとのことでした。

災害復旧が道半ば、転居を余儀なくされ、元の生活を取り戻せていない方々がおられる中で冷たい態度であると言わざるを得ません。今後、被災者にきめ細かい対応をして行くことを尾道市に強く求めました。

### ペットと一緒に避難が可能に！

「避難しろと言われてもペットがいるから」と岡野長寿市議に相談が... 尾道市がペット同伴可能な避難所を発表しました。①農村環境改善センター(木ノ庄町木門田2907-2)②御調体育センター(御調町市1156)③市民センターむかいしま(向島町5531-1)④因島総合福祉保健センター(因島田熊町1315-1)